

現代中国語圏における道元の発見 聞き取り調査から

著者	何 燕生
著者別名	HE Yansheng
雑誌名	国際禅研究
号	4
ページ	159-183
発行年	2019-12
URL	http://doi.org/10.34428/00012062

現代中国語圏における道元の発見

—聞き取り調査から—

何 燕生*

はじめに

道元はかつて中国に留学し、中国の仏教と深いかかわりを持っているが、中国ではその存在が殆ど知られていない。しかし、近年、そのような状況に一つの変化が見られるようになってきた。それは一方、台湾を中心とする中国語圏で道元の書物を読んだり、道元の強調するところの「只管打坐」を標榜し、実践の中に取り組んだりするような試みが一部のグループによって行われており、他方、台湾および大陸の学界で中国語で書かれた道元研究関連の書物や論文も次第に見られるようになってきたということである。これまで調べたところによると、前者は実践レベルから道元の坐禅観（只管打坐という実践思想）を取り入れようとしているのに対して、後者の場合は思想レベルから道元の禅思想を発見しようという特徴を持っているように思われる。

欧米において、道元の思想に共鳴して、坐禅を行っている団体や個人が多いが、管見によると、中国語圏ではそのような例がこれまでには未だ確認されていない。この論文では、実践レベルからの道元の発見について紹介すると共に、その特徴や意義について検討することになる。

一、実践レベルからの道元の発見—洪文亮の諸活動

まず、実践レベルからの道元の発見について紹介する。

*郡山女子大学教授

これは台湾出身の洪文亮医師を導師とする一連の活動を指すものである。その活動の一部は今日、インターネットでも確認できるが、実は私がその存在を知ったのは、『正法眼蔵』中国語訳が出版された2003年のことであり、偶然の中であった。それは、ある日、マレーシア在住の華僑の方から、『正法眼蔵』の中国語訳を購読したいが、入手の方法がわからなくて困っているので、教えてほしいとの内容のメールが届いた。そのメールによれば、その方が現在、洪文亮という方について『正法眼蔵』を勉強しているという。これがきっかけとなり、その方と文通するようになり、また、彼が開設しているブログを時々チェックしたりして、その活動の様子をある程度知ることができるようになった。そして、2009年、私はマレーシアの学会に参加する機会に恵まれた。その方が学会のポスターから私がマレーシアに来ていることを知り、私に連絡してきた。そして、その方およびマレーシア在住の主要メンバーの方と直接会うこととなった。その際、インタビューを行うなどで、彼らの活動の様子について、より具体的に知ることができた。

昨年（2017）5月、『正法眼蔵』中国語訳の新装版（北京：宗教文化出版社2017年）が刊行された。この新装版の刊行も実はこの会に加入している上海在住の大陸出身の方からのメールがきっかけだった。それは『正法眼蔵』初版が刊行されてから、すぐに品切れとなり、ネットでは海賊版まで出回っており、なんと原価の10倍の値段で販売されているという。出版社がこのことを知り、すぐに新装版を刊行することとなった。私は5月の連休を利用して、刊行されたばかりの新装版を持って上海へ行き、彼らに会うことにした。この際、大陸におけるこの会の活動の様子について、直接伺うことができた。その時の様子について、本プロジェクトの研究例会で発表したことがある（第4回研究会、2018年11月18日、東洋大学白山キャンパス6号館）。

今年、本格的な調査を始めて実施することにした。今年5月末から6月末にかけて、質問紙を作成し、上海在住のメンバーの方に協力してもらい、

聞き取り調査を行った。

今回の報告は、これまで調べてきたことを踏まえたものではあるが、とくに今年実施した聞き取り調査について、整理できた部分を中心に紹介したい。あくまでも中間報告に過ぎないことをあらかじめ断っておきたい。

1. 洪文亮という人

Webの記載によると、洪氏は1933年生まれ、台湾雲林県出身。元高雄市立大学附属病院外科主治医だった洪氏は、ある日、南懷謹の『禅海蠱測』を読み、禅への関心を示すようになった。その後、



直接、南氏に教わったりしていたが、南氏が台湾を離れてからは、南氏の指示に従い、その後継者となり、台湾やアメリカ、香港などを行き来し、中国人社会における禅の布教に尽力するようになった。その後、自分の経営している病院を処分すると共に、医師を辞めて、禅の布教に専念するようになり、今日に至っているという。

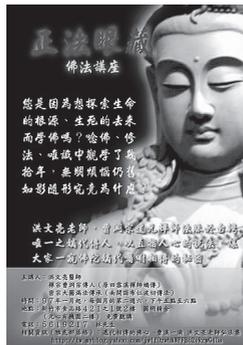
道元の禅仏教を「発見」したのは、日本を訪問したとき、日本曹洞宗の原田雪溪氏との出会いがきっかけだったという。原田氏の印可を受けると共に、曹洞宗の門徒という立場に立ち、道元の『正法眼蔵』を研究したり、道元の強調する「只管打坐」を「正伝の仏法」とし、それを人々に広めたりしようということだったという。

2. 具体的な活動

現在確認できているところによると、その活動はおおよそ三つの形で展開されていることがわかる。

①講座（講演活動）。定期的に台中市や台北市および新竹市で行われる。たとえば新竹市で行われた講座は「正法眼蔵仏法講座」と言い、その時のポスターは下記の通りである。このポスターでは洪文亮氏が「老師」と称

され、「台湾における曹洞宗道元禪師法脈の唯だ一人の嫡代の伝人」と宣伝されている。講座の様子は一部、弟子たちのブログでインターネットを通じて、映像として公開されている。



②共修会もしくは禅修活動（いわゆる坐禅会）。例えば新竹市で行われた「共修会」の時の時間割は以下の通りである。「禅一」とは一日のみ行われるという意味である。

新竹禅一課程表

8.00~ 8.45am	打坐
9.00~ 9.45am	打坐
10.00~10.45am	打坐
11.00~11.45am	打坐
12.00~ 1.30pm	午餐／休息
1.45~ 2.30pm	打坐
2.45~ 3.30pm	打坐
3.45~ 4.30pm	打坐
4.30~ 5.00pm	休息
5.00~ 6.00pm	老師上堂
6.00~	晚餐／自由坐

③インターネットなどのメディアを使った講話。現在、弟子たちによっ

て開設されているブログをいくつか確認できるが、それらのブログでは洪文亮氏の言葉を集めた、いわゆる「洪師語録」や洪氏の略歴、必修科目とされている「禅門文献」、活動の予告および映像などが主な内容となっている。弟子たちの交流の場としてのチャットもよく利用されているようである。

3. 勉強の内容

これまでは主として洪氏本人によって中国語に翻訳された道元の『正法眼蔵』の一部を読んできたようだが、2003年に拙訳が正式に出版されてからは、拙訳を利用することが殆どのようである。よく読まれているのは「坐禅箴」巻、「自受用三昧」巻、「普勧坐禅儀」、「学道用心集」などの他、瑩山禅師の『伝光録』も含まれている。

4. 構成員

この団体は在家者によって構成されている。それぞれは普通の職業に携わっており、仕事の合間に活動に参加しているようである。メンバーは、最初は台湾本島出身者がほとんどだったが、近年はマレーシアや香港の華僑のほか、大陸出身者が多く加入している。全体の人数は不明だが、活動の規模から、恐らく百人前後ではないかと思われる。

洪文亮氏が中心となって取り組んでいる活動では、道元の『正法眼蔵』が前面に出されており、坐禅が強調され、実践の面から道元を敬慕していることがわかる。また、洪氏本人も在家でありながら、自分は日本曹洞宗の法脈を受け継いだとの認識を持つ一方、弟子たちより、「老師」や「禅師」などと呼ばれ、宗教家というイメージも多分に持っていることが窺われる。その意味で、彼らの試みは準宗教に近い性格を持っていると言えるが、いったい何時からそうした活動がスタートしたか、未だ正確に確認できていない。しかし、これまでの活動記録からすれば、それほど昔ではなく、2000年前後のことではないかと思われる。特に私の『正法眼蔵』中国語訳が刊

行された2003年以後、大陸へ広げるとともに、急速に活動が活発になってきたことが考えられる。今後は宗教団体として発展していくかどうかは不明だ。

いずれにせよ、思想レベルではなく、実践レベルから道元を発見しようという点に興味が引かれるところであり、今後の進展を見守って行きたい。

以下は聞き取り調査についての分析結果である。なお、聞き取り調査は中国語で行われた。

二、質問紙による聞き取り調査とその分析結果

1. 问卷调查（中国語原文）

课题名称：当代华语圈对道元的发现——以问卷调查为中心（現代中国語圏における道元の発見～聞き取り調査から）

课题负责人：何燕生（郡山女子大学宗教学教授／武汉大学讲座教授）

郑重说明：

1. 此次问卷调查是一次课题研究，目的在于客观反映事情的真实情况，因此，请如实填写各项内容。
2. 此问卷只用于与此课题相关的用途，事后可能会以课题成果的形式发表。如有涉及个人信息问题，将严格遵守日本“个人信息保护法”（「個人情報保護法」）的相关规定，妥善处理。
3. 提问中如有不愿意回答的项目，可以忽略。
4. 填写时，请用笔（钢笔、圆珠笔、铅笔不论）填写。

1. 请提供以下信息。

年齢：

性別：

職業：

工作地（省／市）：

2. 何时开始参加“只管打坐”活动？

_____年_____月

3. 通过什么途径知道“只管打坐”活动？（请打圈，可以多选）

a. 网络 b. 朋友 c. 家人 d. 其它（ ）

4. 迄今（2018年6月之前）参加过几次“只管打坐”（禅修）活动？（请打圈）

1次 2次 3次 4次 4次以上

5. 在你的心目中，道元禅师是一位什么样的人？

6. 你认为道元禅的魅力具体在哪儿？

7. 迄今（2018年6月之前）你学过《正法眼藏》哪些篇章？（请具体列举）

8. 你喜欢《正法眼藏》哪一章？为什么？

9. 参加“只管打坐”活动之前对佛教的认识。（可多选）

a. 接触过佛教 b. 受过皈依 c. 对佛教感兴趣

10. 你参加“只管打坐”活动的目的是什么？

11. 请告知洪文亮先生在你心目中的位置。

12. 你参加“只管打坐”（禅修）活动后，你有什么感受？

13. 在迄今的“只管打坐”（禅修）活动中，你有没有过什么特殊的体验，可以分享吗？
14. 你迄今参加过的“只管打坐”活动（禅修）的人数最多的一次人数是多少人？（请打圈，可多选）
a. 50人 b. 60人 c. 80人 d. 100人 e. 120人 f. 120人以上
15. 请告知你迄今参加过的“只管打坐”活动的场地情况。（请打圈，可多选）
a. 寺院 / ____次 b. 寺院以外的场所 ____次

感谢您的合作！

日本語訳

質問紙による聞き取り調査

研究課題名:「現代中国語圏における道元の発見——質問紙によるアンケート調査を中心に——」

研究課題代表者: 何燕生 (郡山女子大学宗教学教授/武漢大学講座教授)

説明:

1. この聞き取り調査は課題研究の一環であり、客観的に本会の実態を知るためのものです。そのため、事実に基づいて、各項目にお答えいただきたい。
2. この聞き取り調査は本研究に関わる用途にのみ用いられます。事後、成果として発表される際、もし、個人情報にかかわるような問題が生じた場合は日本の「個人情報保護法」の規定に従って、適切に処理します。
3. 質問の中に、答えたくない項目がある場合、それを無視してよい。
4. 記入する際は、必ずペンを使ってください。万年筆、ボールペン、鉛筆を問いません。

1. 以下の情報をご提供ください。

年齢:

性別:

職業:

勤務地/居住地 (省/市):

2. いつから「只管打坐」の活動に参加したのですか。

____年 ____月

3. どんなきっかけで「只管打坐」の活動を知りましたか（丸で囲んでください。複数選択可）
 - a. ネット
 - b. 友人
 - c. 家族
 - d. その他（ ）
4. 今まで（2018年6月以前）、何回「只管打坐」（禅修）活動に参加しましたか（丸で囲んでください）
1回 2回 3回 4回 4回以上
5. あなたの心の中で、道元禅師はどのような人物ですか。
6. あなたから見て、道元禅師の魅力は具体的にどこにありますか。
7. 今まで（2018年6月まで）、あなたは『正法眼蔵』のどんな巻を学びましたか（具体的に挙げてください）。
8. 『正法眼蔵』のどんな章がお好きですか。それはなぜですか。
9. 「只管打坐」活動に参加する以前の仏教に対する理解（複数選択可）
 - a. 仏教に触れたことがある
 - b. 仏教に帰依している
 - c. 仏教に興味があった
10. あなたは「只管打坐」活動に参加する目的はなんですか。
11. あなたの心の中での洪文亮先生の位置を教えてください。
12. 「只管打坐」（禅修）活動に参加して、あなたはどんな感じを受けましたか。

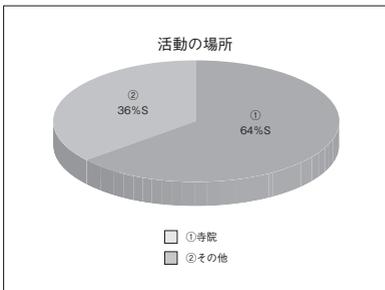
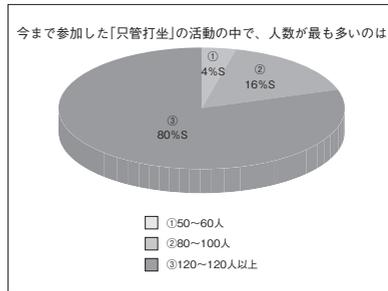
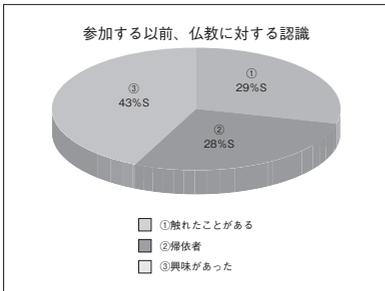
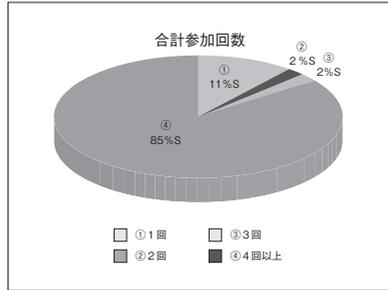
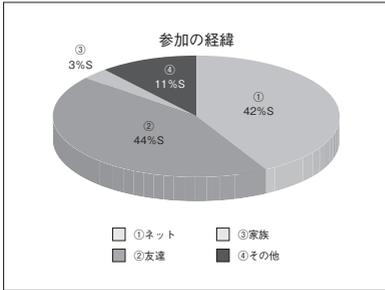
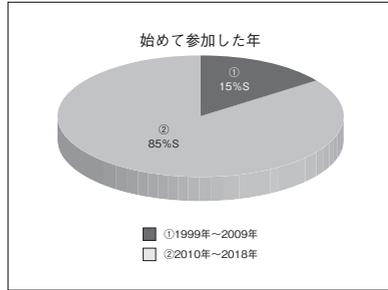
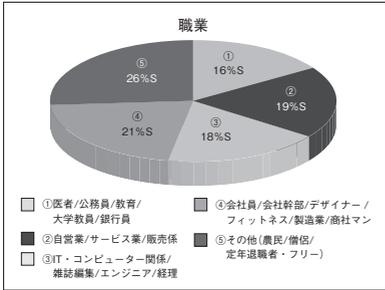
13. 今まで参加した「只管打坐」(禅修)活動の中で、なにか特別な体験がありましたか。教えていただけますか。
14. あなたが今まで参加した「只管打坐」(禅修)活動の人数の中で一番多いのは何人ですか。
a. 50人 b. 60人 c. 80人 d. 100人 e. 120人 f. 120人以上
15. 今まで参加した「只管打坐」活動の場所についてお知らせください(丸で囲んでください。複数選択可)

ご協力ありがとうございました！

聞き取り調査の統計表 I

質問項目番号	項目		各年齢層の人数 (名)					合計人数 (名)	
			年齢 (人数)	20～29歳 (2)	30～39歳 (20)	40～49歳 (15)	50～59歳 (17)		60～69歳 (4)
1								総人数 (59)	
1	性別	・男性	1	14	12	10	1		38
		・女性	1	6	3	7	3	1	21
1	職業	・IT、コンピューター関係	1	1					2
		・販売係	1		1	1			3
		・定年退職者				5	3	1	9
		・フィットネス		1					1
		・会社幹部		1		1			2
		・フリー		1	1	1			3
		・雑誌編集		1		1			2
		・医者		1	1				2
		・商社		1					1
		・大学教員		1					1
		・会社員		1	4	1			6
		・自営業		2	2	1			5
		・エンジニア		3	1				4
		・サービス業		1	2				3
		・僧侶		2					2
		・製造業		1					1
		・公務員		1	1	1			3
		・教員				1	1		2
		・銀行					1		1
		・農業					1		1
・デザイナー					1		1		
・経理 (財務)					1	1	2		
1	勤め先 (居住地)	・中国国内	2	18	12	16	4		52
		・台湾		1	2			1	4
		・マレーシア		1		1			2
		・香港			1				1
2	始めて参加した年	・1999年			1	1		2	

		・2004年			1				1
		・2005年						1	1
		・2006年			1				1
		・2007年			1				1
		・2008年			1		1		2
		・2009年		1					1
		・2010年		3		1			4
		・2011年		1	1	1			3
		・2012年		3	3				6
		・2013年		6					6
		・2014年		3	1	5	1		10
		・2015年	1	1	3	6	1		12
		・2016年	1	1	4		1		7
		・2017年		1					1
		・2018年				1			1
3	参加した きっかけ	・ ネット	1	12	7	5	1		26
		・ 友達	1	9	6	10	1		27
		・ 家族		1			1		2
		・ その他			2	3	1	1	7
4	合計参加 の回数	・ 1回		1	1	4			6
		・ 2回		1					1
		・ 3回		1		1			1
		・ 4回							
		・ 4回以上	2	17	14	11	3	1	48
9	参加する 以前、仏 教に対す る理解度	・ 触れたことが ある		11	5	12	1	1	30
		・ 帰依者		9	5	14		1	29
		・ 興味があった	2	15	11	13	3	1	45
14	今まで参 加した坐 禅会の中 で、人数 が最も多 いのは？	・ 50名				1			1
		・ 60名			1				1
		・ 80名		2					2
		・ 100名		2	1	3		1	7
		・ 120名	1	6	1				8
		・ 120名以上	1	10	12	12	2		37
15	活動の場 所	・ 寺院	2	20	14	14	2	1	53
		・ その他		8	12	7	2	1	30



聞き取り調査の統計表Ⅱ

項目		各年齢層の人数(名)						合計人数 (名)
質問項目 番号	年齢 (人数)	20～ 29歳 (2)	30～ 39歳 (20)	40～ 49歳 (15)	50～ 59歳 (17)	60～ 69歳 (4)	70～ 79歳 (1)	総人数 (59)
	7 これまで 読んだ 巻	巻						
	辦道話	1	4	6	3		1	15
	現成公案	1	6	6	6			19
	古仏心	1	2	5	3			11
	坐禅儀	1	3	2	2			8
	八大人覺	1	3	4	2		1	11
	行持	1	5	2	1		1	10
	見仏	1		1				2
	有時	1	1	3	1			6
	仏道	1		1				2
	諸惡莫作	1		1				2
	虚空	1		2				3
	梅花		2				1	3
	一顆明珠		2	7	3		1	13
	溪声山色		3	3	1		1	8
	即心是仏		2	4	3			9
	坐禅箴		6	6	5			17
	礼拝得髓		2	2				4
	空華		2	3	2			7
	三昧王三昧		4	5				9
	三時業		2	4	1			7
	家常		2	1				3
	行仏威儀		2	3	3			8
	仏向上事		2	2	2			6
	発菩提心		4	2				6
	深信因果		3	2				5
	四禅比丘		3	3	1			7
	神通		2	2	1			5
	眼睛		2	2				4
	密語		1	1				2
	身心学道		1	3	2			6
	摩訶般若波羅蜜			1	1			2

	大悟		1	1	2			4
	観音		1					1
	仏性		2	2	1			5
	遍参		1	2				3
	『正法眼蔵随聞記』		1		1			2
	海印三昧			4	2			6
	古鏡			3	1			4
	看経			1				1
	出家			1				1
	出家功德			1				1
	袈裟功德			1				1
	供養諸仏			1				1
	帰依仏法僧宝			1				1
	菩提薩埵四摂法			1				1
	生死			2				2
	道心			1				1
	恁麼			1	1			2
	仏教			1				1
	諸法実相			1				1
	他心通			1				1
	法華転法華			1				1
	唯仏与仏			1				1
	因果			1				1
	心不可得			1				1
	道得			1				1
	三十七品菩提分法			1				1
	説心説性				1			1
	光明				1			1
8 好きな 巻	現成公案	1	2	2	1			6
	行持	1	4		1			6
	辨道話		3	3	1			7
	家常		1					1
	古仏心		1	2				3
	『正法眼蔵随聞記』		1					1
	有時		1					1
	三昧王三昧			2				2

坐禪歲			1	3			4
眼睛			1				1
溪声山色			1				1
仏向上事			4	1			5
三時業			1				1
坐禪儀			1	1			2
見仏			1				1
深信因果			1				1
密語			1				1
行仏威儀			1	2			3
虚空			1				1
八大人覺				2			2

回収した質問紙のサンプルの一部、その①

问卷调查

课题名称：当代华语圈对道元的发现——以问卷调查为中心（現代中国語圏における道元の見聞聞き取り調査から）

课题负责人：何燕生（郡山女子大学宗教学教授 / 武汉大学讲座教授）

郑重说明：

1. 此次问卷调查是一次课题研究，目的在于客观反映事情的真实情况，因此，请如实填写各项内容。
2. 此问卷只用于与此课题相关的用途，事后可能会以课题成果的形式发表。如有涉及个人信息问题，将严格遵守日本“个人信息保护法”（「個人情報保護法」）的相关规定，妥善处理。
3. 提问中如有不愿意回答的项目，可以忽略。
4. 填写时，请用笔（钢笔、圆珠笔、铅笔不论）填写。

1. 请提供以下信息。

年龄： 32

性别： 男

职业： 科研

工作地（省 / 市）： 上海市

2. 何时开始参加“只管打坐”活动？

2012年10月

3. 通过什么途径知道“只管打坐”活动？（请打圈，可以多选）

a. 网络 b. 朋友 c. 家人 d. 其它()

4. 迄今（2018年6月之前）参加过几次“只管打坐”（禅修）活动？（请打圈）

1次 2次 3次 4次 4次以上

5. 在你的心目中，道元禅师是一位什么样的人？

正法正师 顶天立地之大丈夫

6. 你认为道元禅的魅力具体在哪儿？

我认为“道元禅”这一说法并不很准确。道元禅师只是用身心来宣说世尊之正法，即宇宙的真实，并没有特别以“道元禅”。而真实不异于我们心存在，并无魅力可说，只是本来面目。

7. 迄今（2018年6月之前）你学过《正法眼藏》哪些篇章？（请具体列举）

跟随洪文亮老师的讲读开示，学习过《正法眼藏》中部分篇章的部分段落，如《现成公案》、《即心是佛》、《一报以殊》、《坐禅赞》、《礼拜得髓》、《空花》、《三昧五三昧》

8. 你喜欢《正法眼藏》哪一章？为什么？

《行持》

9. 参加“只管打坐”活动之前对佛教的认识。（可多选）

a. 接触过佛教 b. 受过皈依 c. 对佛教感兴趣

10. 你参加“只管打坐”活动的目的是什么？

搞清楚生活心意义，活法真实

11. 请告知洪文亮先生在你心目中的位置。

万劫难遇之正师

12. 你参加“只管打坐”（禅修）活动后，你有什么感受？

希望不辜负此生

13. 在迄今的“只管打坐”（禅修）活动中，你有没有过什么特殊的体验，可以分

享吗？

没有特殊体验

14. 你迄今参加过的“只管打坐”活动（禅修）的人数最多的一次人数是多少人？

（请打圈，可多选）

a. 50 人 b. 60 人 c. 80 人 d. 100 人 e. 120 人 f. 120 人以上

15. 请告知你迄今参加过的“只管打坐”活动的场地情况。（请打圈，可多选）

a. 寺院 / 次 b. 寺院以外的场所 次

10次以上

未统计（如算上共修活动，百次以上）

谢谢您的合作！

回収した質問紙のサンプルの一部、その②

问卷调查

课题名称：当代华语圈对道元的发现——以问卷调查问为中心（現代中国語圏における道元の発見～聞き取り調査から）

课题负责人：何燕生（郡山女子大学宗教学教授／武汉大学讲座教授）

郑重说明：

1. 此次问卷调查是一次课题研究，目的在于客观反映事情的真实情况，因此，请如实填写各项内容。2. 此问卷只用于与此课题相关的用途，事后可能会以课题成果的形式发表。如有涉及个人信息问题，将严格遵守日本“个人信息保护法”（「個人情報保護法」）的相关规定，妥善处理。

3. 提问中如有不愿意回答的项目，可以忽略。

4. 填写时，请用笔（钢笔、圆珠笔、铅笔不论）填写。

1. 请提供以下信息。

年龄：53

性别：男

职业：自由职业

工作地（省/市）：上海

2. 何时开始参加“只管打坐”活动？

2015年6月

3. 通过什么途径知道“只管打坐”活动？（请打圈，可以多选）

a. 网络 b. 朋友 c. 家人 d. 其它()

4. 迄今（2018年6月之前）参加过几次“只管打坐”（禅修）活动？（请打圈）

1次 2次 3次 4次 4次以上

5. 在你的心目中，道元禅师是一位什么样的人？

正法正脉 与释尊不二

6. 你认为道元禅的魅力具体在哪儿？

破除迷信 正本清源

7. 迄今（2018年6月之前）你学过《正法眼藏》哪些篇章？（请具体列举）

现成公案 身心学道 一颗明珠 古佛心 坐禅箴
有时 佛白话 神通 说心说性 三时业 八大人觉
办道话

8. 你喜欢《正法眼藏》哪一章？为什么？

办道话和八大人觉 办道话简明易懂 颠覆了以前对佛教的所有固化概念，彻底打破了宗教迷信。
八大人觉是我们修行人日常生活之行为规范准则

9. 参加“只管打坐”活动之前对佛教的认识。（可多选）

a. 接触过佛教 b. 受过皈依 c. 对佛教感兴趣

10. 你参加“只管打坐”活动的目的是什么？

尝试亲近真实 找到真我

11. 请告知洪文亮先生在你心目中的位置。

唯佛与佛 痛痛相传 与如尊道不二

12. 你参加“只管打坐”（禅修）活动后，你有什么感受？

自我控制力增强

13. 在迄今的“只管打坐”（禅修）活动中，你有没有过什么特殊的体验，可以分享吗？

没有特殊体验，只记得第一次飞云寺禅修时的特殊痛感，有想死的感觉

14. 你迄今参加过的“只管打坐”活动（禅修）的人数最多的一次人数是多少人？
（请打圈，可多选）

a. 50人 b. 60人 c. 80人 d. 100人 e. 120人 f. 120人以上

15. 请告知你迄今参加过的“只管打坐”活动的场地情况。（请打圈，可多选）

a. 寺院 / 7 次 b. 寺院以外的场所 4 次

この団体はいつい何時からそうした活動がスタートしたか、未だ正確に確認できていない。これまでの活動記録からすれば、それほど遠い昔ではなく、2000年前後のことではないかと思われる。特に私の『正法眼蔵』中国語訳が刊行された2003年以後、大陸へ広げるとともに、急速に活動が活発になってきたことが言えるようである。

そして、その特徴はひとまず以下のような三点になると思われる。

- ①道元の『正法眼蔵』を前面に出しており、「只管打坐」を強調し、実践の面から道元の禅を敬慕していること。
- ②洪氏本人が在家でありながら、自分は日本曹洞宗の法脈を受け継いだという認識を持つ一方、弟子たちより、「老師」や「禅師」などと呼ばれ、宗教家というイメージも多分に持っていること。
- ③その意味で、彼らの活動は準宗教に近い性格を持っていることが言える。

最後に、思想レベルからの道元の発見について紹介しておく。

冒頭で述べたように、上述した実践レベルの道元の発見とともに、思想レベルからの道元の発見もなされていきている。その代表的な動向として傅偉勳氏の『道元』（台湾東大図書公司、1996年）を挙げることができる。中国語圏の中において、中国語で刊行された道元研究の最初の本格的な研究書である。

中国語圏で日本の仏教学に対する学問的な関心が高いものの、日本仏教そのものについては研究が極めて遅れている。もちろん、日本仏教史というような概説書が出てはいるが、本格的な研究がまだなされていないのが現状である。そうした中、傅偉勳氏の『道元』はとても注目されるべき業績になろう。

傅氏は1933年台湾に生まれる。台湾大学哲学部を卒業後、イリノイ大学で学位を取得、主にテンプル大学で教鞭を執った。専門は宗教学、特に仏教を中心とする東アジア思想関係の著書が多いが、テンプル大学でHeine

Steven氏の学位論文の指導にあたってから、道元へ関心を持つようになったという。『道元』はそのような経緯の中で執筆されたものだが、執筆の途中、リンパ腺ガンを患われ、入院治療のため、執筆を余儀なく中断し、刊行までは前後四年半かかったという。傅氏は序文で「ものを書くのがとても早いという習慣を身につけている自分からすれば、この本はこれまでの人生の中でもっとも辛い経験だった」と述懐している。病氣治療に専念する他に、道元思想そのものが難解である点も理由として挙げられているのである。

本書は全体で五章に分ち、第一章、第二章はそれぞれ道元の生涯と著作が紹介されている。第三章は『正法眼蔵』における有名な巻の中国語の抄訳と解説である。第四章と第五章はそれぞれ「道元禅学の現代的理解」、「道元禅学の現代的意義」と題され、いわば本書の核心部分をなしている。本書の最後に「結語―道元禅学の総評価」のほか、年表や参考文献が付けられている。

一読すれば、本書における傅氏の問題関心は、道元思想そのものにあることがわかる。例えば、まず、本書の核心部分となる第四章「道元禅学の現代的理解」で取り上げられているテーマは、道元の基本的な立場とされる「修証一等」や「有時」の時間論、出家重視の思想、因果の問題、禅戒一致の思想などであり、氏はそれらをインド以来の仏教思想の流れに位置づけながら、氏自身が構想する「創造的解釈学」(Creative Hermeneutics)という立場に立って、論を展開している。氏によれば、道元思想について、「縁起論」「因果論」「戒律観」では「歴史的な突破」を持っているが、晩年の出家至上主義については、原始仏教の保守的な立場に戻ったような印象を与えるものと指摘する。また、氏は、道元の「誤読」にも特別な関心を示し、それを「創造的な誤読」「意図的な誤読」と肯定的に捉え、自分自身の構想する「創造的解釈学」にも近いものとする。

そして、第五章「道元禅学の現代的意義」では具体的には「道元と京都哲学派」「道元と批判仏教」「道元とハイデガー」「道元とクリシュナムル

ティ」などあるように、比較思想の観点から幅広く論じられている。その狙いは、道元の思想が現代に意味するものはいったい何かを明らかにしようとするところにあると認められる。

傅氏はアメリカの大学で教鞭を執りながら、その立場を生かして、まだ往来が困難だった20世紀80年代から90年代にかけて、台湾と香港および中国大陆との学術交流の促進に重要な架け橋を果たした学者である。私の道元研究も傅氏の後塵を拝するものに過ぎないが、そのお陰で、中国大陆における道元研究が重要な一步を進むことができたと思っている。例えば、90年代に北米などの学界で話題を呼んでいた日本の「批判仏教」の諸論争を纏めた論文集 *Pruning the Bodhi Tree: The Storm Over Critical Buddhism* (by Jamie Hubbard and Paul Swanson, 1997 University of Hawaii Press) が中国語に翻訳され、中国の学界に紹介されたのは、傅氏の『道元』に負うところが大きいといえる。本書は正面から道元を扱ったものではないが、道元との関係が深く、また、本書には道元の『正法眼蔵』からの引用も特に多い。訳者が翻訳にあたり、『正法眼蔵』の引用部分を私の『正法眼蔵』中国語訳から採用していることも知られるのである。

中国大陆における道元研究の本格的な成果は、現在のところ、私が企画した『中国禅学』第四巻の特集号「道元と中国禅」(北京・中華書局、2004年)という程度のもののようである。今後の見通しについて言えば、思想レベルから道元に関心を持つことが少しずつ増えてくるであろう。しかも、その際、もっとも関心が寄せられるのは、おそらく中国の禅との関係および比較であろう。しかし、全体的に言えば、実践レベルでの関心が主流になっていくと思われる。

ともあれ、傅氏の『道元』が刊行されてから、学問的な問題関心からの道元の発見が中国大陆ではまだ端緒にすぎたばかりではあるが、日本をはじめとする学術との交流が盛んに進められている中、道元への発見が益々深まっていくものであろうと考える。